

2018.02.22

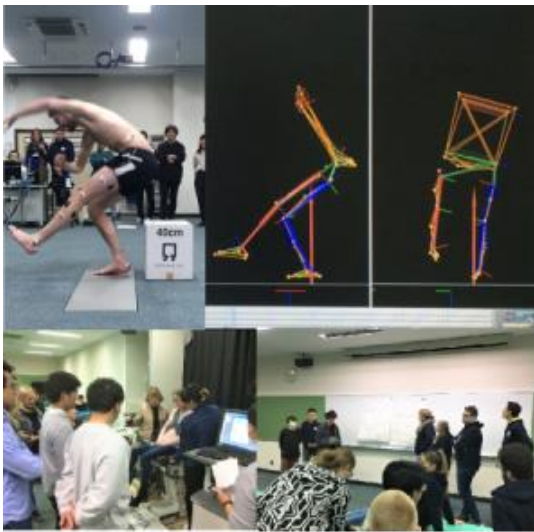
【国際交流】ドイツ・Fresenius 大学の学生が本学で研修を行いました

2018年2月10日から20日までの11日間、ドイツ・フレセニウス大学の学生11名が本学に研修に訪れました。

本学とフレセニウス大学は、平成24年度から理学療法学科学生の相互派遣研修を行っており、今回が6回目の来日研修です。昨年9月に本学学生がドイツを訪れた時に交流した学生が中心となって来日しました。

本研修は、医療や理学療法に加えて文化や国民性の違いを考え、理解しあうことで国際的な視点を持って活躍できる理学療法士を育成することを目的としています。

今回の研修では、上牧温泉病院、藤岡総合病院、群馬県立ふれあいスポーツプラザを見学させていただき、日本の医療・理学療法の実態を学び、呼吸理学療法や傷害予防の授業に参加することで日本の理学療法への理解を深めました。また全日程、本学科の学生宅にてホームステイを受け入れることで文化的背景を相互で理解し合うことができました。さらに日独学生混成のグループで三次元動作解析装置や筋力測定装置を用いて動作分析をし、プレゼンテーションを行いました。機器を用いての動作分析はドイツ学生には新鮮だったようで真剣に取り組む様子が印象的でした。



動作解析グループワーク

文化体験

互いに母国語ではない英語を用いた交流であったため、最初は同じ国の学生同士でコミュニケーションを取る様子が目立ちましたが、最後にはお互いに別れを惜しむほど密な交流ができ、よい研修にすることができました。

来年度以降もこの交流は継続する予定であり、高崎健康福祉大学とフレセニウス大学は今後も交流を発展させていきます。

